

中村交響楽団

池田 俊 (指揮者) 志田 理早 (メゾ・ソプラノ)

8/23 日 19:00開演 [18:30開場]

会場：四万十市立文化センター

入場料

一般：1,000円

高校生以下：500円

[当日各200円増]



中村交響楽団



池田 俊 (指揮)



志田理早 (メゾ・ソプラノ)

Program (プログラム)

ベートーヴェン 交響曲第6番 へ長調 作品68「田園」より

ビゼー カルメン第1組曲

オペラ「フィガロの結婚」より「恋とはどんなものかしら」

「カルメン」より「ハバネラ」

「オルフェユとエウリディーチェ」より「エウリディーチェを失って」

●主催 四万十川国際音楽祭実行委員会 TEL 0880-34-7311

●共催 高知県立美術館

●助成：枚方市四万十市友好都市推進協議会

●後援/高知新聞社・朝日新聞高知総局・読売新聞高知支局・毎日新聞高知支局・産経新聞高知支局・日本経済新聞高知支局・RKC高知放送・NHK高知放送局・KSSさんサンテレビ・エフエム高知
KUTVテレビ高知・中村ロータリークラブ・四万十ロータリークラブ・四万十ライオンズクラブ・国際ソロプチミスト幡多・中村青年会議所・中村商工会議所・土佐くろしお鉄道

●チケット販売場所/四万十市立中央公民館・フジ中村店・フジグラン四万十・アピアさつき・サニーマート四万十店・土佐くろしお鉄道中村駅・市内楽器店・鈴ハイヤー・澤近画廊
総合衣料田中屋・ドコモショップ四万十東店・高新プレイガイド

ふれあいコンサート

中村交響楽団

第77回定期演奏会

2009 8/23 日 19:00開演 [18:30開場] 会場：四万十市立文化センター

中村交響楽団 (なかむらこうきょうがくだん)

新響〔現NHK交響楽団〕にてN響の基礎を作り上げた指揮者ローゼンシュトックの下で斎藤秀雄(チェロ)らとヴィオラ奏者として活躍していた小島勝(1908-1997)が1946年に四万十市(旧中村市)にアマチュアオーケストラを創設する。幡多地域を中心に活動、毎年夏の定期演奏会には全国から楽器を持って愛好家も参加し賑やかに開催する。1981年枚方フィルハーモニー管弦楽団と交流演奏会を行い、2006年から定期演奏会でも交流を再開する。

1995年(H7)には「高知県文化賞」を、1996年(H8)には「中村市功労賞」を受賞。1996年には創立50周年記念東京公演を、2006年8月13日には文化庁長官河合隼雄を招き60周年記念演奏会を開催する。また1997年より『スクール出前コンサート』を、2006年より弦楽器の若手育成にも力を注いでいる。2008年は小島勝生誕100年を記念しウィーン・フィル、コンサートマスターのライナー・キュヒルとの共演を行う。



池田俊 (指揮者)

兵庫県西宮市生まれ。大阪音楽大学において指揮法を研鑽。トランペットを齊藤広義、金石幸夫氏に師事。第40回読売新人演奏会に出演。卒業後大阪フィルハーモニー交響楽団入団。

1974年ドイツのデトモルト国立音楽大学へ留学。室内楽と指揮をヨスト・ミヒャエルス、トランペットをヘルムート・シュナイディンガー氏に師事。帰国後、大阪フィルに再び首席トランペット奏者として迎えらる。1995年大阪フィルを退団し本格的に指揮活動に入る。大阪文化祭において〔奨励賞〕〔本賞〕を受賞。(大阪シュベルマー金管アンサンブル指揮とトランペット) 1997年オーストラリアでのブリスベン国際プラス・フェスティバルに招かれ、クインズランド音楽院でのマスター・クラスでオーケストラに関する演奏法やソロの指導と共にコンクールの審査も務める。1998年関西フィルハーモニー管弦楽団と指揮者デビューコンサートを開催し、豊かな音楽性を持つ才能ある指揮者と絶賛され、〔神戸っ子〕のブルーリボン賞に指揮者部門でノミネートされる。以来、関西フィル、大阪シンフォニカー交響楽団、広島交響楽団、奈良フィルハーモニー管弦楽団、エウフォニカ管弦楽団、ウインドカンパニー管楽オーケストラ、大阪市音楽団等で指揮。2001年ブルガリア国立室内オーケストラを指揮し好評を得る。2004年ブルガリア国立ソフィアフィルハーモニーオーケストラを指揮し、その成果に対して〔ディプロマ〕を授与し帰国。またこの2009年6月に渡欧し、ウクライナ国立交響楽団を指揮、スタンディングオベーションを受ける。現在はプロ、アマを問わない多彩な指揮活動を行い、特にアマチュアのオーケストラや吹奏楽団の演奏向上に力を注いでいる指揮者として評価を受けている。日本指揮者協会会員。高知大学交響楽団(常任指揮者)、香芝シティ室内オーケストラ(専任指揮者)、JAPANアカデミー・トランペットアンサンブル指揮者(音楽監督)、奈良教育大学非常勤講師。

現在はプロ、アマを問わない多彩な指揮活動を行い、特にアマチュアのオーケストラや吹奏楽団の演奏向上に力を注いでいる指揮者として評価を受けている。日本指揮者協会会員。高知大学交響楽団(常任指揮者)、香芝シティ室内オーケストラ(専任指揮者)、JAPANアカデミー・トランペットアンサンブル指揮者(音楽監督)、奈良教育大学非常勤講師。

現在はプロ、アマを問わない多彩な指揮活動を行い、特にアマチュアのオーケストラや吹奏楽団の演奏向上に力を注いでいる指揮者として評価を受けている。日本指揮者協会会員。高知大学交響楽団(常任指揮者)、香芝シティ室内オーケストラ(専任指揮者)、JAPANアカデミー・トランペットアンサンブル指揮者(音楽監督)、奈良教育大学非常勤講師。



志田理早 (メゾ・ソプラノ)

幡多郡黒潮町上川口出身。高知大学教育学部卒業。東京芸術大学声楽科卒業、同大学院修士課程独唱科修了。在学中は芸大バッハカンタータクラブに所属、世界的音楽家である小林道夫氏

のもとでバッハのカンタータや受難曲等を学び、数多く演奏する。また、芸大合唱定期ドヴォルザーク「レクイエム」(H.M.シュナイト指揮)のソリストに選ばれた他、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「クリスマスオラトリオ」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」など、

宗教曲・オラトリオを中心にソロ活動を行う。昨夏は地元上川口で女声コーラス体験学習、ドイツ歌曲レクチャーミニコンサートを開催。今後も音楽を交えた地域交流を企画していく予定。

2007~2008年ドイツ・フライブルクに留学。

声楽を小原浄二、小原伸枝、伊原直子、ドイツリートをコンラート・リヒター、エファ・プリンクヒレマンの各氏に師事。

東京J・S・バッハ合唱団、東京ムジーククライス、横浜シティ合唱団、女声合唱団「楽-GAKU-」各ヴォイストレーナー。高知バッハカンタータフェラインメンバー。